

まちの声



2回目となる今回は、妹背牛町でも長い歴史のある(株)夏井坂組の5代目代表取締役で、商工会理事・妹背牛建設業協会副会長として活躍されており、「夏井坂 聡氏」に、お話を伺いました。



Q 妹背牛町がもつと住み良い町になるために、今後、必要とすることはありますか？

A 安全で便利な町、美しく清潔な町、そんな町に住み良い町だと思っています。「安全・清潔な町」は地元住民で協力し合えば可能な部分だと思っています。「便利な町」は住民の力だけではどうにもならないと感じてお

り、妹背牛町からのバックアップが必要だと思っています。「美しい町」も今後の空き屋・空き地対策や、町並みの整備等、住民と町とが協力しないと実現できない部分だと思っています。また、高齢者が安心して生活できる整備なども必要だと思っています。

Q 妹背牛町の良いところは何かと思いますか？

A 自然が豊かで、イベントがたくさんあり、お米が美味しいところです。また、観光の拠点としては最高の位置にある町だと思えますが、現在、それを生かし切れていないので、今後に期待したいと思っています。

Q 商業では、労働力不足が大きな問題ですが、今後、必要と思うことはありますか？

A 超高齢化社会へと踏み出した現在、妹背牛町だけではなく日本全体の問題だと思っています。もう既に町内業者でも、外国人労働者を雇用しはじめている企業もあります。大工のような特殊技能を必要とする現場では、外国人労働者を雇用するわけにはいかない。若年技能労働者の育成・環境整備が必要と考えています。行政と企業が一体となり、指導・幹旋・相談などの窓口があれば良いと思います。



編集後記

初夏を迎え北海道らしい爽やかな夏空の下様々な行事が行われる季節ですが、台風・梅雨前線の影響を受けた記録的な豪雨により各地で甚大な被害が発生しました。豪雨により亡くなられた方、被災された方に心よりご冥福とお見舞いを申し上げます。

さて、過日、第2回定例議会が開催され、6名の議員が一般質問に立ちました。その際、多くの町民の方に傍聴していただきまして感謝申し上げます。

私ども議員も町民の方に一層町づくり、議会に関心を持っていただき、緊張感を持って議員活動に専念したいと思います。

今後とも、町民の声を町づくり、町政に反映させる議会づくりにまい進してまいりますので、ご意見ご要望を頂きます様お願いいたします。



広報特別委員会

- 委員長 鈴木 正彦
- 副委員長 石井喜久男
- 委員 広田 毅